

ISS250 発達心理学

2年 3,4クォーター

担当教員 熊谷 高幸

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング 該当しない

単位数 2

授業概要

このコースでは、人が誕生後、どのような段階を経て発達していくかを講義する。また、その過程に、認知、言語、情動などがどのようにかかわっているか、を明らかにする。さらに、そこに、発達障害者の増加の問題や異文化交流の問題などがどうかかわってくるかを検討する。

到達目標

- 人の発達はどのような過程をたどり、そのためにどのような社会的援助が必要かを知る。
- 発達障害の増加や異文化交流など現代的な問題を知るとともに調べてみる。
- このテーマについて自分の考えを持ち、質問能力や討論能力を高める。

教科書・参考資料等

Developmental Psychology 誌などから関連論文を抜粋して購読する。

関連するビデオ映像を視聴する。

補足教材の購入不要

成績

- | | |
|------------|-----|
| • 基礎的知識の獲得 | 30% |
| • レポート作成 | 40% |
| • 発想力・討論力 | 30% |

授業スケジュール

- 第1回 発達心理学の概要と学ぶことの意義
- 第2回 系統発生と個体発生（進化とヒト個人の発達）
- 第3回 人に固有の発達過程と共同育児環境の必要性
- 第4回 乳幼児期の発達
- 第5回 ピアジェによる認知発達段階論
- 第6回 言語発達の過程とその障害
- 第7回 対人関係発達の過程とその障害
- 第8回 発達障害1：自閉症とADHD
- 第9回 発達障害2：読み書き障害と失語症
- 第10回 青年心理学
- 第11回 生涯発達心理学
- 第12回 記憶障害と記憶のメカニズム
- 第13回 個人差および男女差
- 第14回 グローバル化とネット社会の中での発達の問題
- 第15回 知識確認とレポート作成
- 第16回 知識補充とレポート修正

事前・事後学習

- 前回の内容をまとめ、次回の質問やレポートの内容についてメモする。
- 英文または和文の論文内容を理解して次回授業に臨む（計1時間程度）。